

令和5年度前期政務調査研究報告

会派きぼう

西森 六三

1

前期 視察一覧

月日	場 所		視 察 内 容
5月16日	長野市	信州大学教育学部	地域防災避難施設に求められる課題
7月26日	京都府南丹市	南丹市役所	児童虐待防止の最前線をつなぐクラウド
	京都府亀岡市	保津川遊船企業組合	亀岡市プラスチックごみゼロ宣言に至った経緯
7月27日	京都府京都市	京都市役所	非居住住宅利活用促進税の制度導入
		京都先端科学大学工学部	「不便益」の考え方
8月18日	神戸市	神戸市役所	神戸市における生成AIの活用

2

「地域防災避難施設に求められる課題」について

【目的】

これまで学校施設は災害時の長期滞在を想定して建設されることはなかったため、避難所としては多くの課題の原因ともなっている。そこで「トイレ・水回り」に注目してお話を聞くこととした。

【対象】

トイレに関しては、「質的充足」と「量的充足」が必要となる。

質的充足:レジエントイレや多目的トイレ

量的充足:仮設トイレや簡易トイレ(携帯トイレ)やマンホールトイレ

【レジエントイレ】

「いつもと同じみんなのトイレ」

「公共施設のトイレは誰でもどんな時でも衛生的かつ快適で簡単に使えるのがいい」

災害時でもいつものトイレがいつも通りに

使えることをコンセプトに開発したトイレ



「児童虐待防止の最前線をつなぐクラウド」について

【目的】

子供を取り巻く関係機関では、限られた時間に膨大なケースを扱うため、効率的かつ建設的な情報共有と意見交換及び検討が必要で、それをもとに初期対応の活動へと繋げていく必要があり、現場でのクラウドサービスの有用性を実証する活動に学ぶ

【対象】

情報連携システム「kintone(キントーン)」の導入

【kintone(キントーン)】

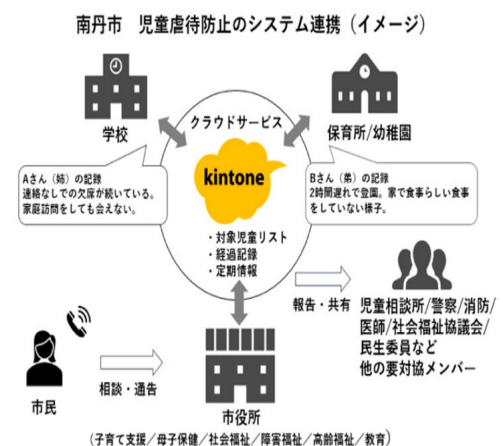
システムアプリ

①「対象児童リスト」

②「経過記録簿」

③「定期的情報提供連絡票(出欠アプリ)」

3つをメインにコメント機能の充実も図ったもの



「亀岡市プラスチックごみゼロ宣言に至った経緯」について

【目的】

保津川下りの船頭たちが、氾濫後の川作同様に河川の清掃作業を行ったことから始まり、保津川ハートクリーン作戦を定期的に開催し、2007年「NPO法人プロジェクト保津川」を設立に至った経緯を学ぶ

【対象】

観光運行「保津川下り」

【きっかけ】

年間23万人が利用、海外のお客様より「この川、ごみが多いね・・・掃除しないの?」と言われる保津川に漂着しているゴミの組成調査を行う中で、特にプラスチックゴミの多さに驚く!

船頭さんたちの自力回収およびボランティア活動からの地道な努力の積み重ねからの発展と知る



「非居住住宅利活用促進税の制度導入」について

【目的】

若年・子育て層を中心に定住人口促進の課題認識

○住宅供給の促進、居住の促進、空き家の発生抑制

○現在及び将来の社会的費用の低減を図り、その経費に係る財源を確保する

【対象】

「非居住住宅」の所有者に新たな負担を求める法定外税の創設が提言

【非住宅利活用促進税】

令和5年3月、地方税法に基づく総務大臣の同意を経て新税の導入が正式決定された

令和8年以降の1月1日に課税開始予定

非居住住宅利活用促進税の課税標準

①家屋価値割	非居住住宅に係る固定資産評価額
②立地床面積割	非居住住宅の敷地の用に供する土地に係る1平方メートル当たりの固定資産評価額(課税標準額ではない)×当該非居住住宅の延べ床面積

非居住住宅利活用促進税の税率

	家屋価値割の課税標準	税率
①家屋価値割	—	0.70%
②立地床面積割	700万円未満	0.15%
	700万円以上900万円未満	0.30%
	900万円以上	0.60%

※計算例 = ①家屋評価額×0.7% + ②土地1㎡当たり評価額×家屋延べ床面積×表の税率

「不利益」の考え方について

【目的】

「不便は悪いこと、便利は良いこと」の対立軸だと考えられていたが、「不便の良い面、便利の悪い面」があるのではないかと

【対象】

「不利益」の事例

【不利益の価値】

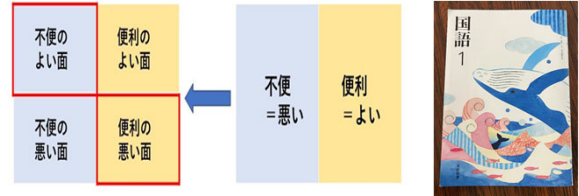
- ① 便利なものにはない「意味やストーリー」が隠されている
- ② 目的より「プロセス」そのものを楽しむことができる
- ③ 不便であればあるほど「記憶」に残りやすい

不利益の価値を享受するには

「心の余裕」が不可欠

「不便だ」「面倒くさい」と思って避けてきた物事の中に

新しい気づきや楽しみが隠れているかもしれない



「神戸市における生成AIの活用」について

【目的】

職員1人当たりの負担量を緩和する目的で「デジタルを活用した業務改革」「スマートシティ」「EBPM(データに基づく政策形成)」からなる神戸市DX3つの柱に学ぶ

【対象】

生成AIに関する全国初の条例制定

【生成AI利用環境の構築】

「入力データが学習に使われない」

「入力データの履歴が保存されない」

「国内法が適用される」

の条件を付すことが出来る連携機能を作り

情報の漏洩、ねつ造、拡散といったリスクを

大幅に低減する仕組みと信用の担保に努めた

